

しあわせ バンク

の 解説書

平成20年12月増補版

根岸地区を
見てみよう

地域の人材、活動グループ、活動の
場、活動内容などの情報を集約し、
住民の誰でもが共有する仕組み



平成20年9月 磯子区役所・ハッピー根岸推進委員会

～誰もが幸せに暮らせるまちをめざして～

スイッチON 磯子

— 磯子区地域福祉保健計画 —



社会福祉法

第1章 総則

(地域福祉の推進)

第4条 地域住民、社会福祉を目的とする事業を営業者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

第10章 地域福祉の推進

(市町村地域福祉計画)

第107条 市町村は、地方自治法第2条第4項の基本構想に即し、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画（以下「市町村地域福祉計画」という。）を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、住民、社会福祉を目的とする事業を営業者その他社会福祉に関する活動を行う者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるとともに、その内容を公表するものとする。

1. 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
2. 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
3. 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項

しあわせバンクは、磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」の重点推進プログラムで、地域の人材、活動グループ、活動の場、活動内容などの地域の宝（情報）を収集して、蓄積し、地域住民の方々誰もが求める情報を得られるようにする機能・仕組みだと考えています。

区内のいくつかの地域ではこのような仕組みを作っているところもありますが、根岸地区と区役所が協働しながら根岸地区のしあわせバンクをスタートさせることになりました。本書では、ひとつの参考例として、この根岸地区のしあわせバンクの仕組みを解説させていただきます。

磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」は誰もが幸せに暮らせるまちをめざしています。この解説書が、これからの地域の宝を活かす機能・仕組みを充実させようと取り組まれている方々の参考になると同時に、しあわせバンクの設立につながることを期待しています。

磯子区長 守屋 直
ハッピー根岸
推進委員会会長 佐藤 正雄

まず第一部で地域が抱える課題や現在の福祉活動などの一般的な状況を振り返り、次に第二部では根岸地区に焦点をあてて、しあわせバンクとはどのようなものかを紹介していきます。

このたび増補版を発行し第3部を加えました。

しあわせバンクの機能

☆しあわせバンクは地域の宝を蓄積して提供します。

☆しあわせバンクは地域に様々な人と人とのつながりを作ります。

しあわせバンクの目的

☆しあわせバンクは誰もが幸せに暮らせるまちを目指します。

☆しあわせバンクは住んでいてよかった！いつまでも住んでいたいと思えるまちづくりを目指します。

第1部

現在の福祉活動

- 1 地域がかかえている課題 03
- 2 現在の福祉活動 04
- 3 より充実した福祉活動を求めて 06

第2部

しあわせバンク ～根岸地区のめざす取り組み～

- 1 しあわせバンク創設までの流れ 08
- 2 しあわせバンクのかたち 09
- 3 しあわせバンクの運営 11
- 4 もっと身近にしあわせバンクを 15

第3部

つながりを作る 具体的な取組

- 1 しあわせバンクを宣伝するチラシ 17
- 2 根岸の状況を把握するアンケートを実施 19

バンク【bank】

①銀行

②特定のものや情報を集め、必要に備えて蓄えておく機関
(例：「アイバンク」・「データバンク」)

～広辞苑（岩波書店）より～

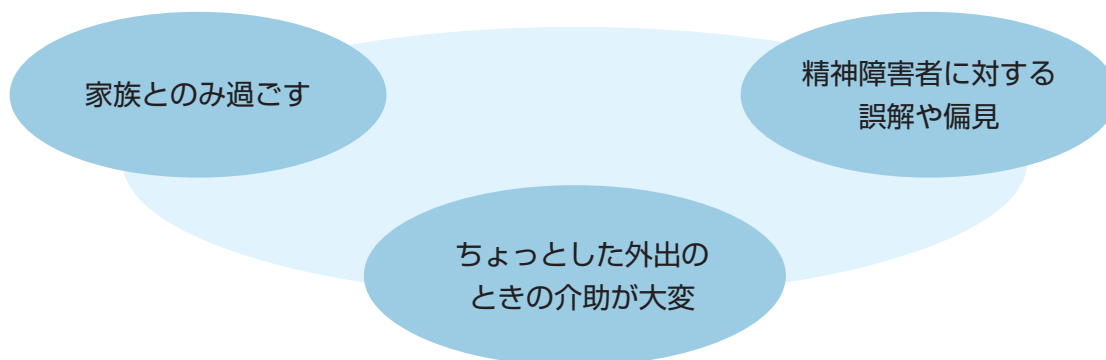
第1部 現在の福祉活動

1 地域がかかえている課題

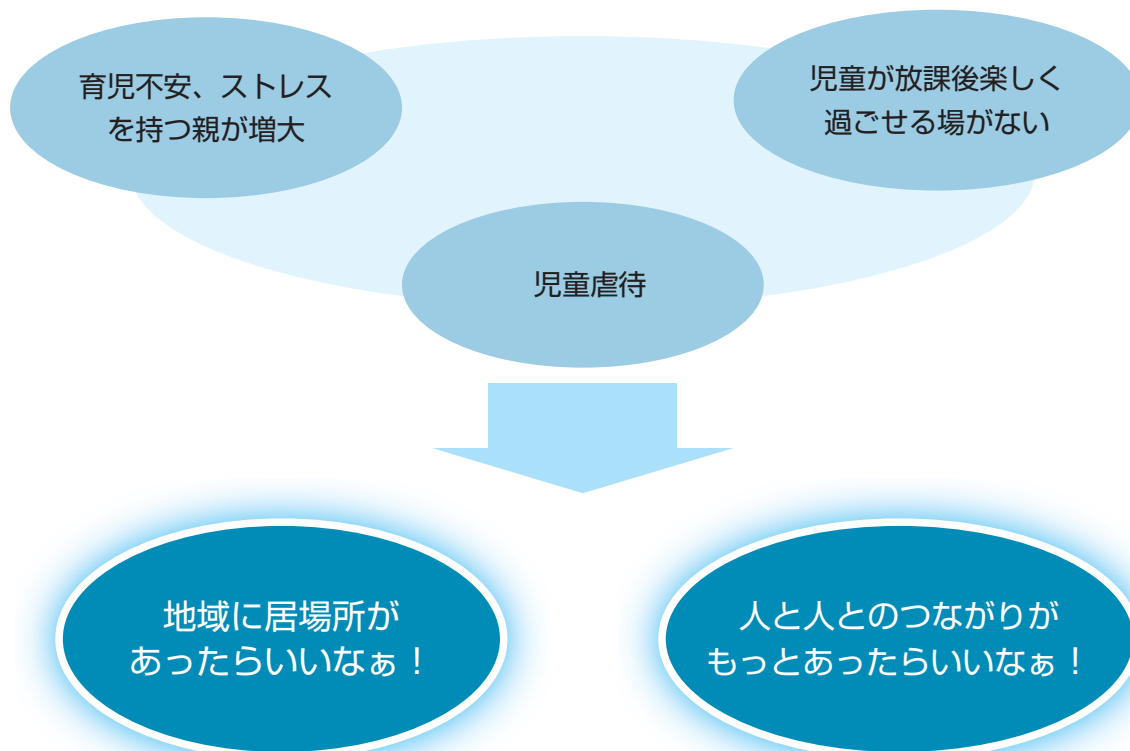
高齢者の場合



障害者の場合

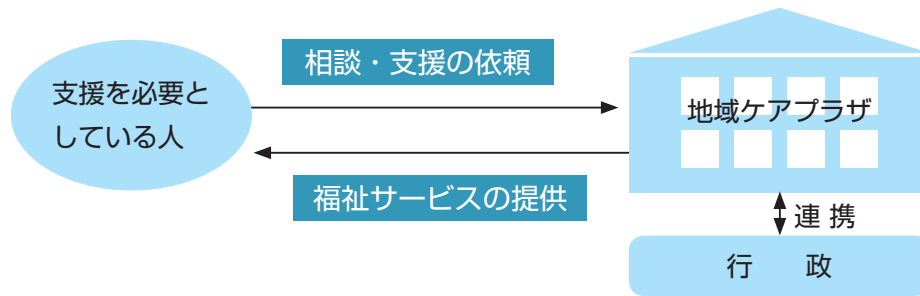


子育ての場合

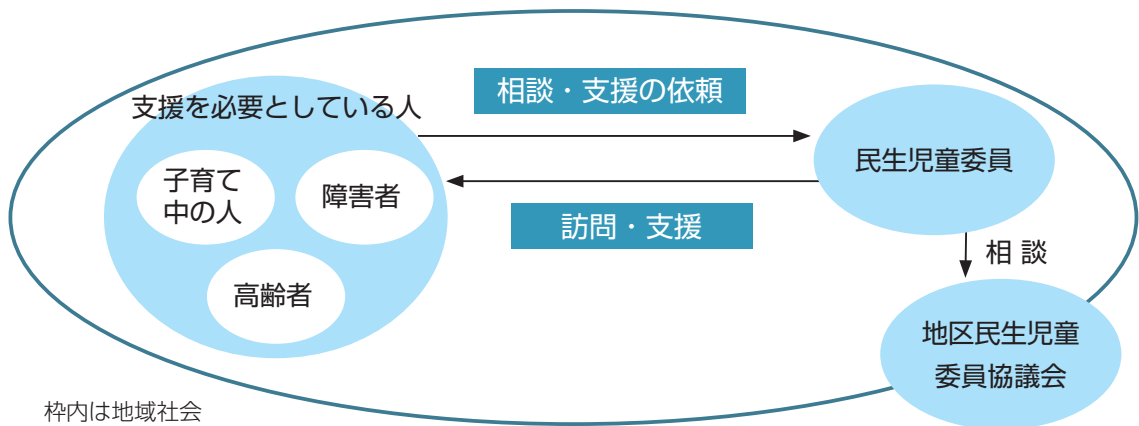


2 現在の福祉活動

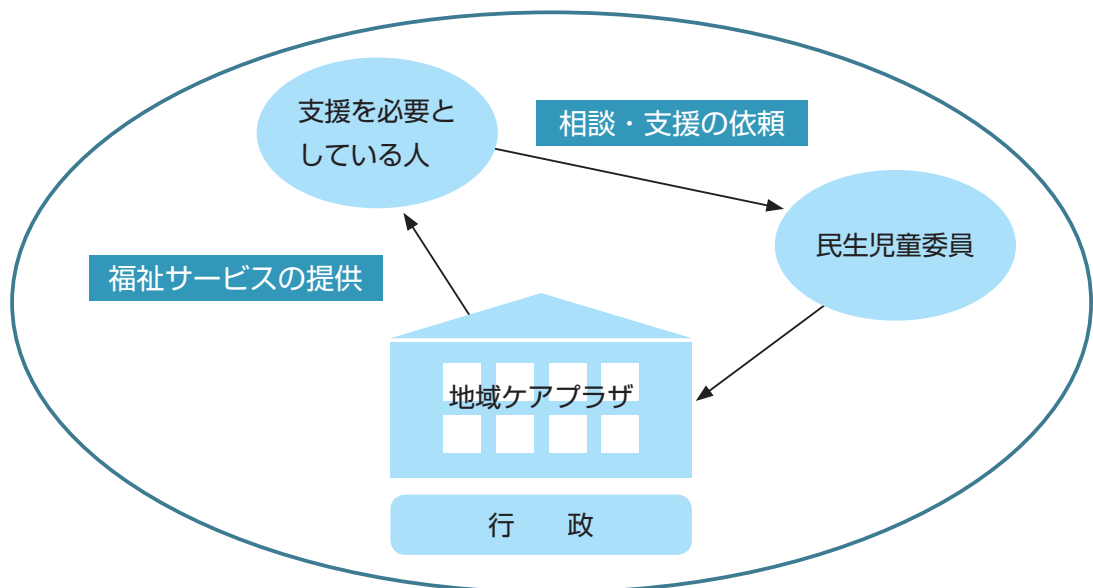
2-1 行政・地域ケアプラザによる福祉サービス



2-2 民生児童委員の活動

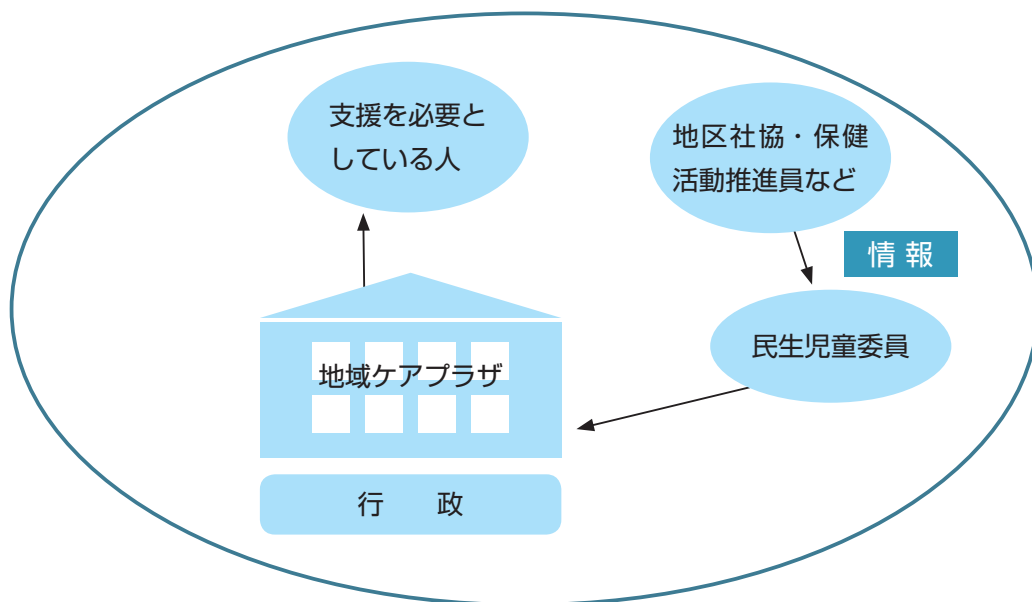


2-3 民生児童委員と地域ケアプラザ



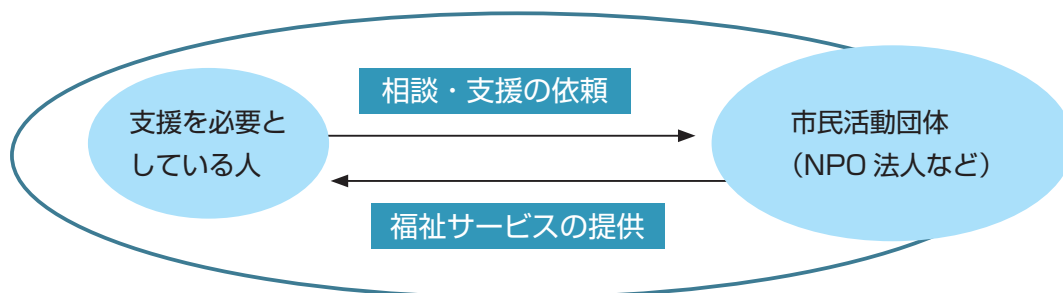
民生児童委員は手助けが必要と思われる人の家を訪問して、必要な場合には援助をします。民生児童委員では援助しきれない場合は、地区民生児童委員協議会に相談したり（2-2）、地域ケアプラザや区役所に状況を伝えます（2-3）。地域ケアプラザや区役所は、福祉サービスを提供します。

2-4 地域団体



民生児童委員のところには、地区社会福祉協議会や保健活動推進員などの方々から、支援を求めている人の情報が入ります。ただし、地域のお付き合いにあまり積極的でない人の情報は、はいりにくいという一面もあります。

2-5 市民活動団体



地域で活動する団体の中で、市民活動団体（NPO 法人など）の存在も欠かせないものになってきています。必要な経費の負担を対象者に求める点はこれまでの地域の活動と異なっています。

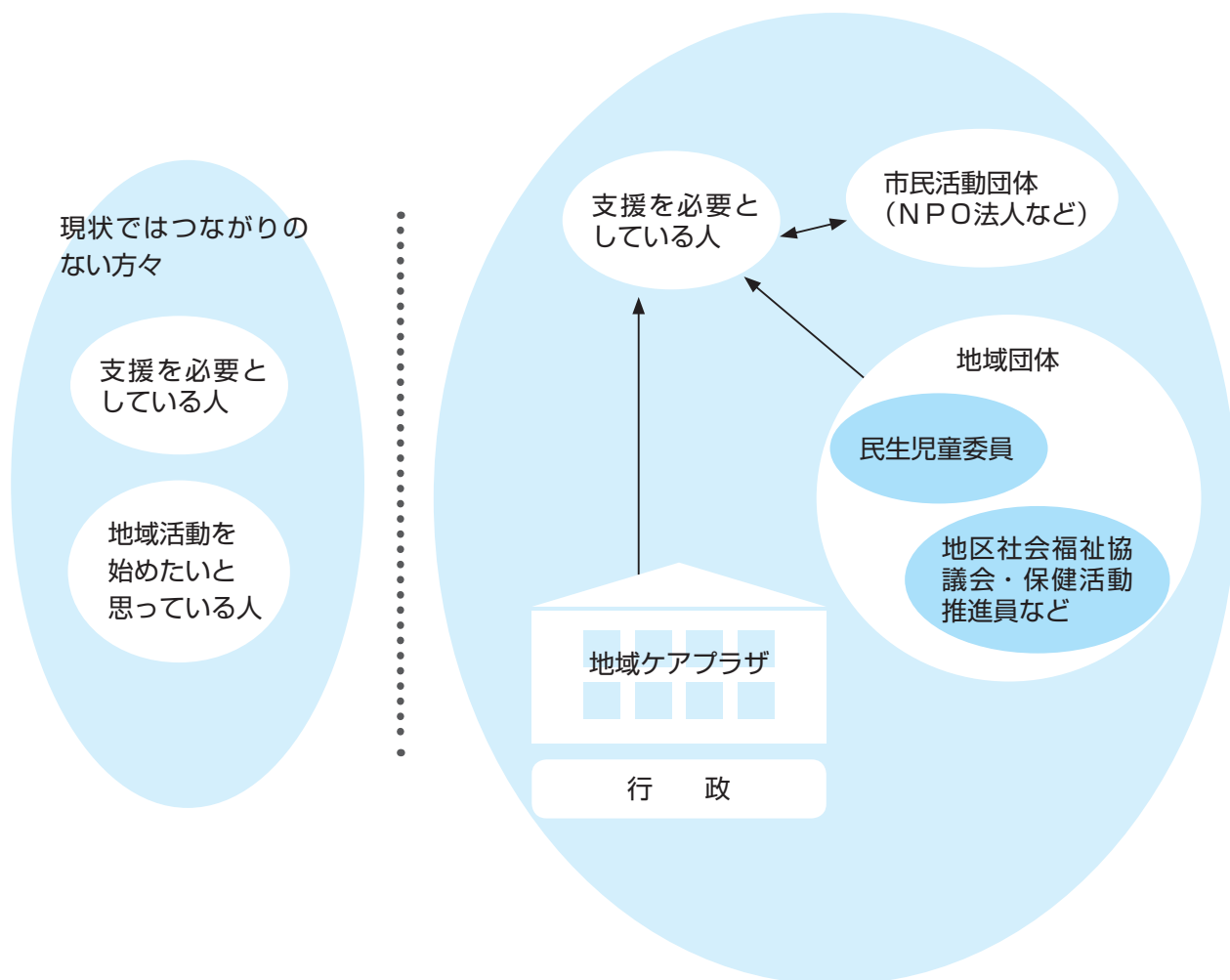
福祉活動や地域づくり活動などの目標をかかげて活動をしている団体ですので、交流連携の機会を作ることが求められます。

市民活動団体の活動はその団体がかけがえる目標に共感する人たちだけの活動になる傾向があります。関心を寄せる人は、広い地域から参加をしますが、近隣の地域社会との関係が弱いという傾向もみられます。

市民活動団体の活動と近隣の地域社会とのつながりをより一層深めていくためには、自治会町内会をはじめとする、地元密着型の団体と交流連携をもつことが求められます。

3 より充実した福祉活動を求めて

3-1 把握できない人たちが居る



地域には支援の求め方がわからない、また、地域活動に参加したくてもその方法がわからないなど、必要な情報が届いていない方々がいるのではないのでしょうか？



ちょっと一休みして用語の整理

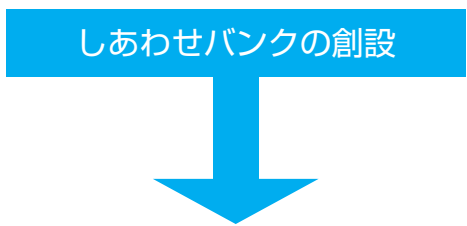
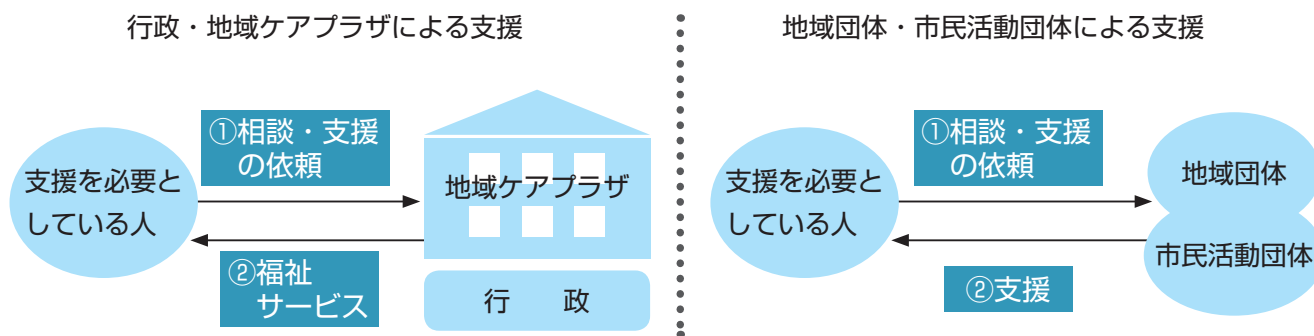
地域団体：自治会町内会の範囲が基準になっている団体。行政機関から委嘱されている団体を含む。

(例) 委嘱されている団体：民生児童委員・保健活動推進員・青少年指導員など

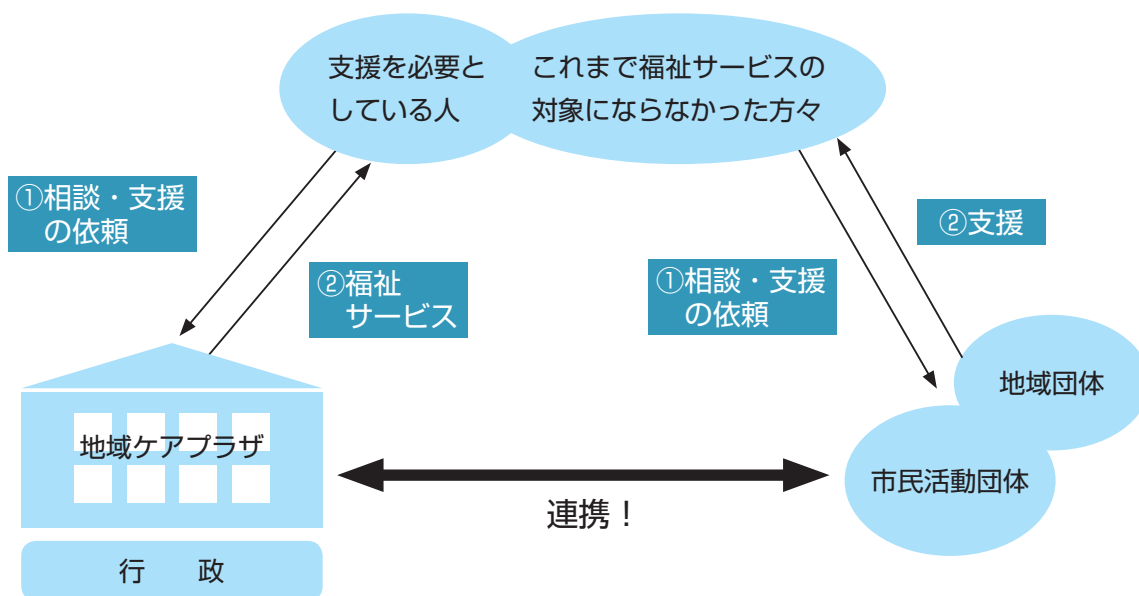
委嘱を受けていない団体：地区社会福祉協議会・子ども会・日赤奉仕団・ボランティア団体など

市民活動団体：課題の解決や共通するテーマで構成された団体。法人格を持たない任意団体や法人格を持つNPO法人がある。活動の範囲は自治会町内会の範囲にこだわらない。

3-2 地域団体、市民活動団体と行政・地域ケアプラザの連携



〈連携の一例〉



地域団体・市民活動団体と行政・地域ケアプラザなどがこれまで以上に連携して福祉活動を進められるようになると、支援を必要としている人が、より一層地域課題に対応した支援を受けられるようになり、福祉活動に参加をしようとしている方々がより一層活動に参加しやすくなるのではないのでしょうか？

第2部 しあわせバンク

～根岸地区のめざす取り組み～

1 しあわせバンク創設までの流れ

磯子区地域福祉保健計画策定委員会を中心として、磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）を策定。

「しあわせバンク」は、その中の重点推進プログラムになりました。

平成18年4月

磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）がスタート

平成18年～19年度

区役所内部でしあわせバンクのあり方を検討

- ・「スイッチON磯子」各地区推進委員会との意見交換を開始
- ・各地区の状況を踏まえて区役所内部でさらにあり方を検討
- ・スイッチON磯子根岸地区推進委員会（ハッピー根岸推進委員会）はしあわせバンクを具体化することを決めました。

平成20年1月以降

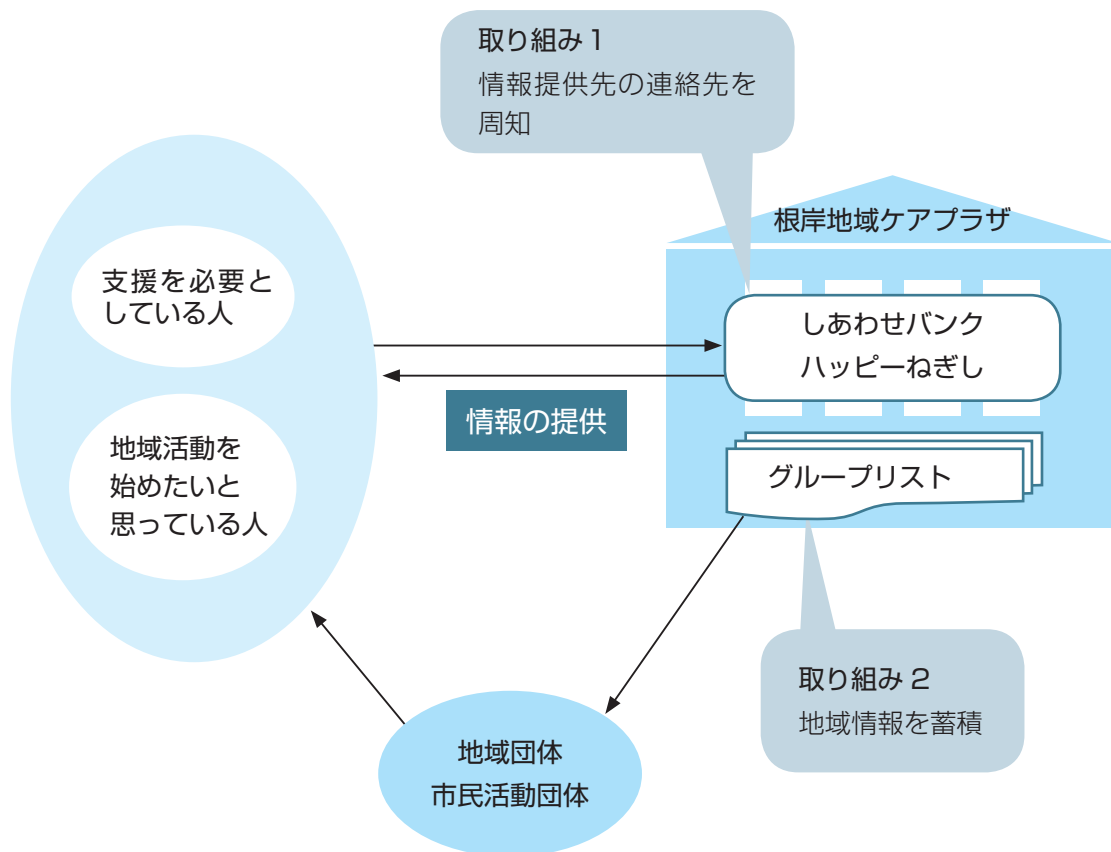
平成20年9月22日

①根岸地域ケアプラザがしあわせバンクの問合せ窓口となり、②スイッチON磯子根岸地区の推進委員が中心となって地域情報を収集・更新していくという役割分担により、しあわせバンクをスタートさせることとしました。

2 しあわせバンクのかたち

2-1 しあわせバンクの二つの取り組み

しあわせバンクは地域の宝（情報）を蓄積し提供します



取組 1 しあわせバンクに蓄積した情報が活用されるように情報の提供窓口（※）の連絡先を常に宣伝します。

※根岸地区の場合は根岸地域ケアプラザです。

取組 2 地域の様々な団体情報を蓄積します。



ここがポイント！ 情報を常に更新

ごみ出しカレンダー（※）の編集作業をかねて、根岸地区の方々が集まった時に蓄積情報の更新をします。地域情報は常に更新をしておく必要があります。

※ごみ出しカレンダーは、根岸地区社会福祉協議会が発行し、その日に出すゴミの種類や地域行事が満載されたカレンダーです。現在は一人暮らし高齢者 250 人ほどに配布されています。

2-2 しあわせバンクの問合せ項目

問い合わせ内容の例

生ゴミを出してほしい
家具を動かしてほしい
草むしりをしてほしい
エアコンや乾燥機のフィルターを掃除してほしい
パソコンの使い方を教えてほしい
友達がいない・何か楽しいことを始めたい
地域活動に参加したい
健康体操を始めたい
話し相手がほしい・昔話を聞いてほしい
子育てで聞きたいことがある
子育て仲間がほしい
地元の歴史を学びたい
など



しあわせバンクは近所で暮らすお隣さん同士のつながりを作り出すことにより、お互いに助け合い、支え合い、普段の暮らしを円滑にしていこうと住民みんなが参加する取り組みです。

ご連絡をいただいたすべての相談ごとが解決できるわけではありませんし、内容によっては有料のサービスとなることもあります。

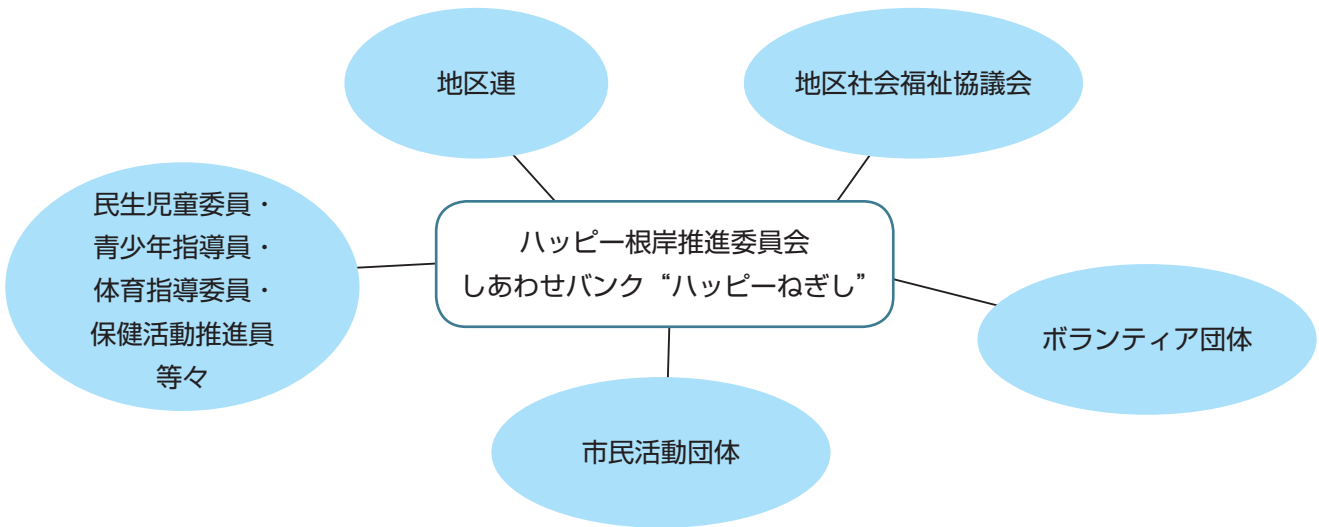
それでも、みんなで知恵を出し合いたいと思いますので、困りごとができればまずは連絡をしてください。

また、あなたのできることを登録してください。どんな内容でも大歓迎です。

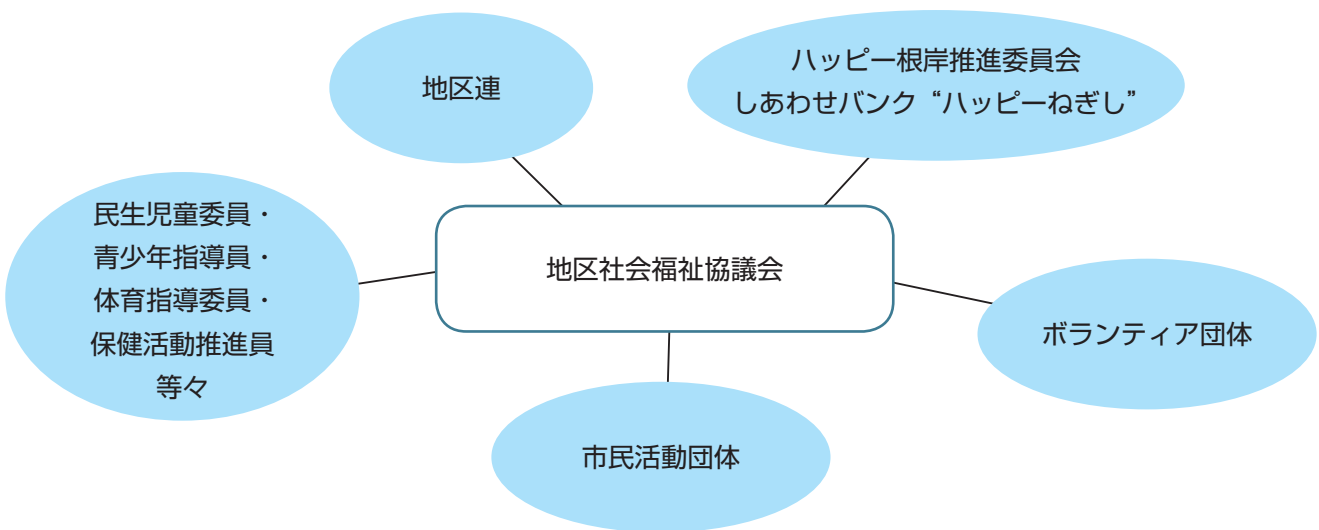
3 しあわせバンクの運営

3-1 しあわせバンクをみんなで支えよう

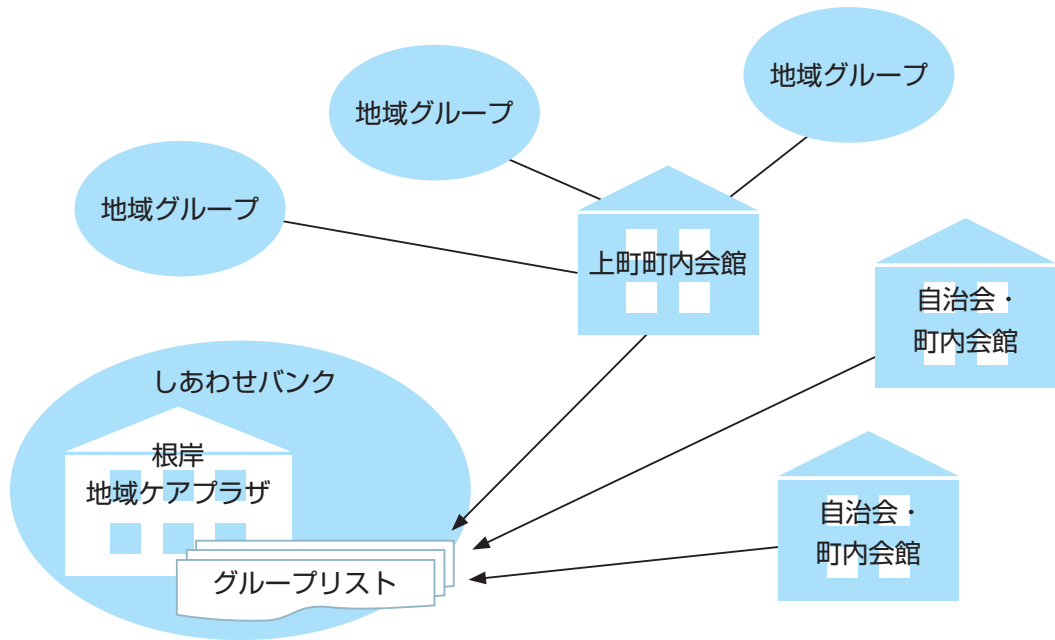
福祉活動はみんなが主役



上の図は次のようにも書き直せます

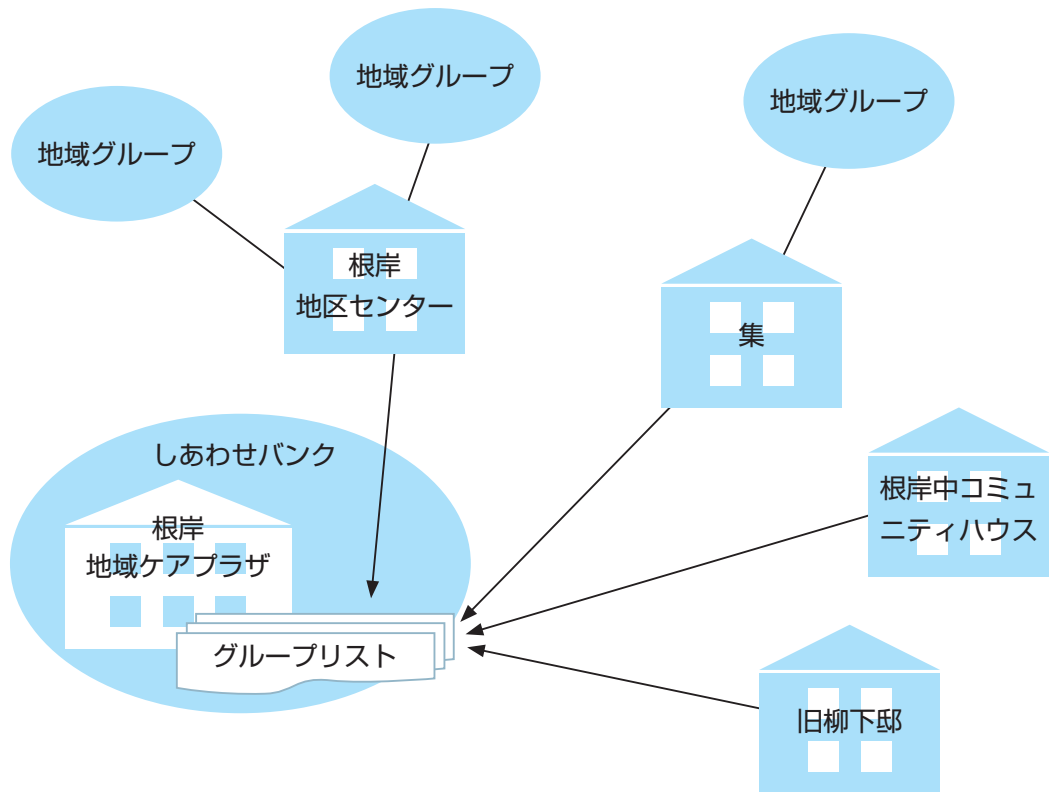


3-2 自治会館でグループを見つけて蓄積しよう

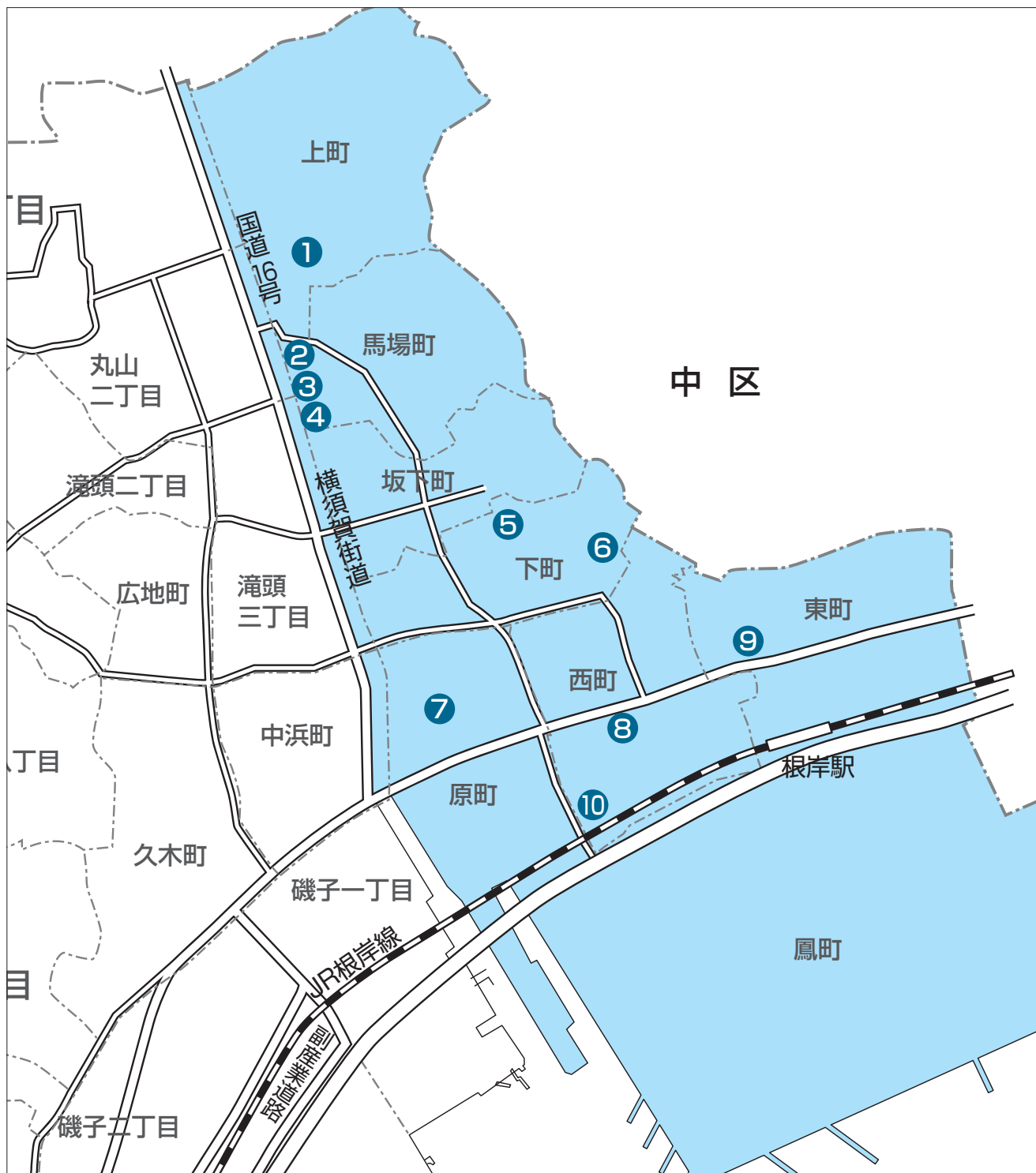


自治会町内会館を主な活動場所としているグループの情報を収集し、蓄積します。

3-3 地域施設でグループを見つけて蓄積しよう



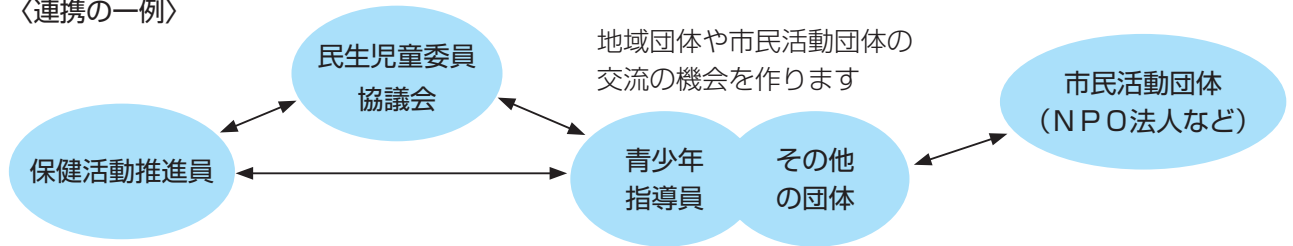
地区センターなど地域施設を主な活動場所としているグループの情報を収集し、蓄積します。



- | | |
|-----------------|------------------|
| ① 上町町内会館 | ⑥ 根岸なつかし公園 旧柳下邸 |
| ② 根岸地区センター | ⑦ 原町町内会館 |
| ③ 根岸地域ケアプラザ | ⑧ 西町内会館 |
| ④ 知的障害者通所更生施設 集 | ⑨ 東町内会館 |
| ⑤ 下町自治会館 | ⑩ 根岸中学校コミュニティハウス |

3-4 団体の連携を進めて、団体の活動を活発にしよう

〈連携の一例〉



地域団体相互の情報交換をこれまで以上に進めます。

例えば民生児童委員・地区社会福祉協議会・保健活動推進員・青少年指導員・体育指導委員・日赤奉仕団・更生保護女性会・ボランティアグループ・消防団など。

さらに、市民活動団体など地域社会への貢献活動を目標にしている団体との情報交換の機会をつくれます。

3-5 新しい仲間を増やしましょう

例①

地域活動への参加を呼びかけます

地域社会への貢献を目標にしている団体へ参加するように、自治会町内会の回覧で地域の皆さんに呼びかけます。

例②

新しい地域団体を作り出す事業を実施します

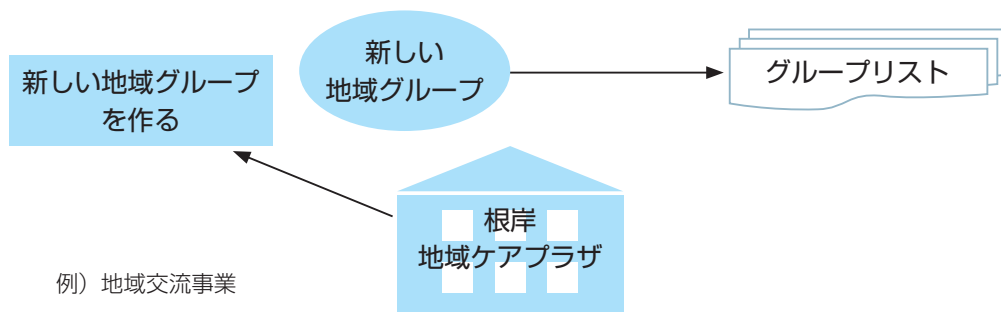
地域ケアプラザの地域交流事業をきっかけにするなどの方法によりグループ作りを進めます。

例③

口コミで仲間を増やします

地域活動を進めている団体は、口コミで仲間を積極的に増やす活動を行います。

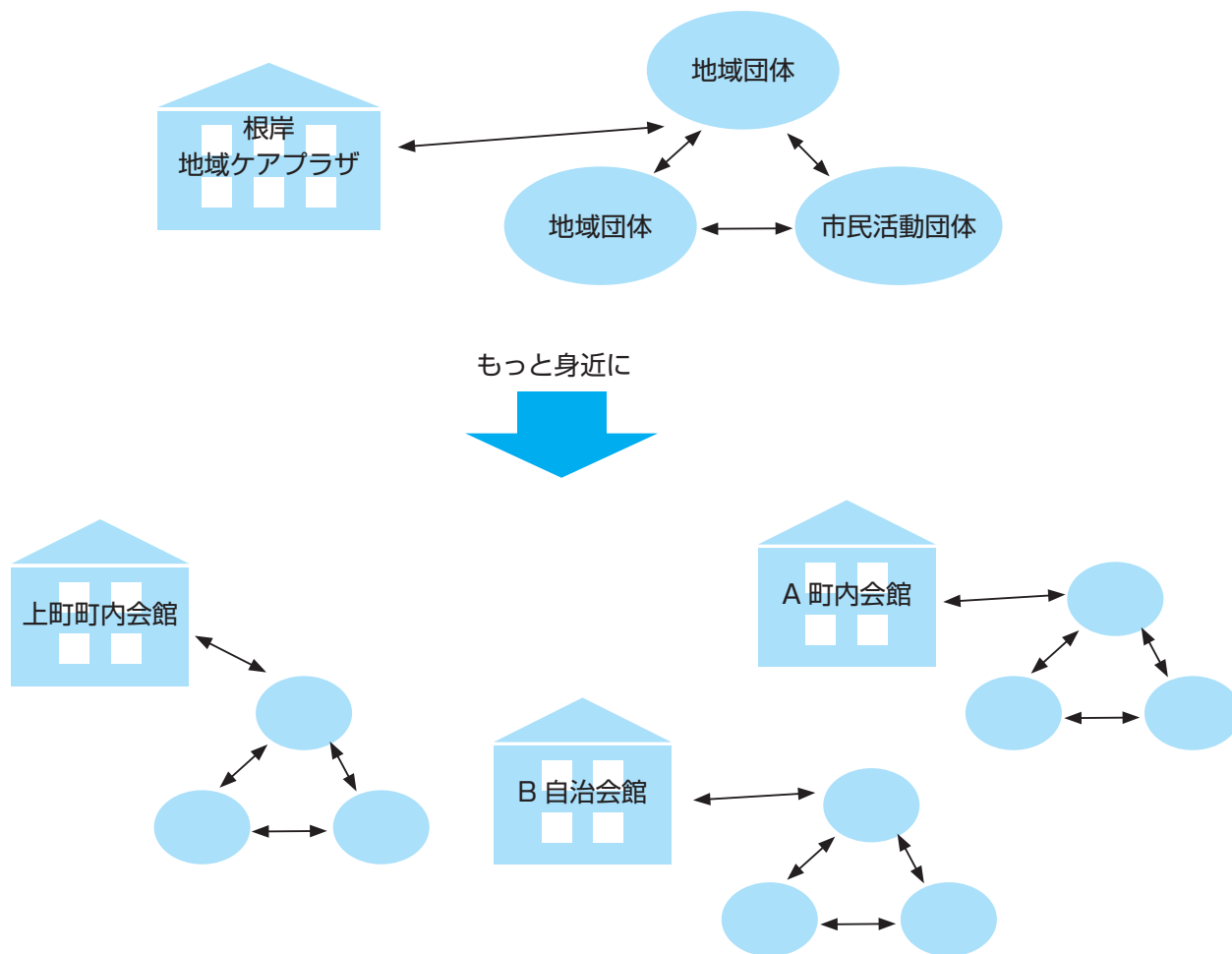
3-6 新しいグループを作りましょう



例えば、地域ケアプラザが主催して行う地域交流事業に参加した“卒業生”の皆さんが新しいグループを作ることを支援します。

4 もっと身近にしあわせバンクを

4-1 身近なところにしあわせバンクを



地域ケアプラザよりも身近にある自治会町内会館を会場にして昼食会やおしゃべり会を開催したり、自治会町内会館を使って活動をしている団体相互のつながりをつくることによって、より小さな規模での活動を進めることができます。身近なところで行われる活動はより多くの方々が参加出来ます。

4-2 もっと近くにしあわせバンクを

「向う三軒両隣」と言われるような回覧板の回る範囲のお付き合いを大切にしましょう！
 回覧板の役割を見直して、自分たちの情報を回覧板に載せて回しましょう！

ケアプラザの範囲や自治会町内会の範囲では、活動対象となる範囲が広いために活動を支える方々の負担が重くなりがちです。

身近な地域で規模の小さい活動を進めることにより、負担が少なく、誰でもが参加できる活動の「仕組み」を作りましょう！

私たちは、しあわせバンクの仕組みづくりについて半年あまり打合せを続けてきました。話し合いの中から「ゴミ出しカレンダー」作りが始まったことは、大きな成果となっています。

この冊子では、しあわせバンクの仕組みを解説し、①地域ケアプラザと地元の活動とが連携することにより、福祉サービスをより一層利用しやすいものにする事や、②地域の方々が福祉活動をはじめとした地域活動に参加する仕掛けづくりについて触れています。

本書の中には、根岸地区がこれから取り組もうとしている内容も含まれています。新しい内容に向かってみんなで知恵を出し合い力を合わせて取り組むつもりです。

根岸地区の中にも、地域活動が活発なところもあれば、まだあまり活発に行われてないところもあります。この解説書が、根岸地区内はもちろんのこと、磯子区内の地域活動をより活発にするきっかけとなれば幸いです。

根岸地区社会福祉協議会
会長 須川 さよ子

9月 **まだ暑さが続きます・気をつけましょう**

日	月	火	水	木	金	土
	1 古布 古紙・新聞 プラスチック	2 家庭ごみ	3 ビン缶 ペットボトル	4	5	6 家庭ごみ
7	8 古布 古紙・新聞 プラスチック	9 家庭ごみ	10 ビン缶 ペットボトル	11	12	13 家庭ごみ
14 さつき会 お楽しみ会 十五夜	15 古紙古布 新聞 プラ	16 家庭ごみ	17 ビン缶 ペットボトル	18 給食会	19	20 家庭ごみ
21	22 古布 古紙・新聞 プラスチック	23 秋分の日 家庭ごみ	24 ビン缶 ペットボトル	25	26 カフェウィータ	27 家庭ごみ
28 磯子まつり	29 古布 古紙・新聞 プラスチック	30 家庭ごみ	注意！ 今月より 家庭ごみ 週2回！ 気をつけて下さい			

今月の主な行事（馬場町） **根岸地区社会福祉協議会**

9月 8日(月)・・・ストレッチリズム体操・・・11時～12時30分・・・地区センター(掲示板で確認して下さい)
 9月14日(日)・・・さつき会・お楽しみ会・・・午後1時～ 滝頭会館 (各班長又は会長に確認してください)
 9月15日(月)・・・敬老祝い品のお届け・・・名簿を提出した方の所に、午前中役員が伺います。
 9月18日(木)・・・給食会・・・12時～・・・地区センター (民生委員に確認してください)
 9月26日(金)・・・カフェウィータ・・・午後・1時～3時・・・ケアプラザ・多目的室

今月のメニュー (スイートポテト・チーズケーキ) 費用 ¥200円

《カボチャの飾りづくり》 申し込み ケアプラザへ 申し込み締め切り 9月16日

実施日 10月7日(火)・・・10時～12時 材料代 ¥1000円

9月28日(日)・・・磯子まつり・・・10時～3時・・・磯子区役所・・・(広場・公会堂・駐車場広場)

《内容》 ◎チャリティーバザー ◎手作りむかし遊び ◎手作りステージ (踊り・音楽・芸能など)
(誘い合ってお出かけ下さい)

第3部 つながりを作る 具体的な取組

1 しあわせバンクを宣伝するチラシ

平成20年12月増補版の発行について

「しあわせバンクの解説書～根岸地区をしてみよう～」を平成20年9月に発行いたしましたが、その後の地域の動きを加えた増補版を発行いたします。

手助けがほしいときに
ご連絡をください。

人のために何かお手伝い
のできる方からのご連絡を
お待ちしております。

751-4801



根岸のしあわせバンクの電話番号です
根岸地域ケアプラザにつながります

しあわせバンクは地域の人材情報を蓄えて身近な課題の解決をめざします。ゴミが出せない・近所に仲間がほしいなどの身近な課題を、近所同士で解決する人と人とのつながりを作ります。

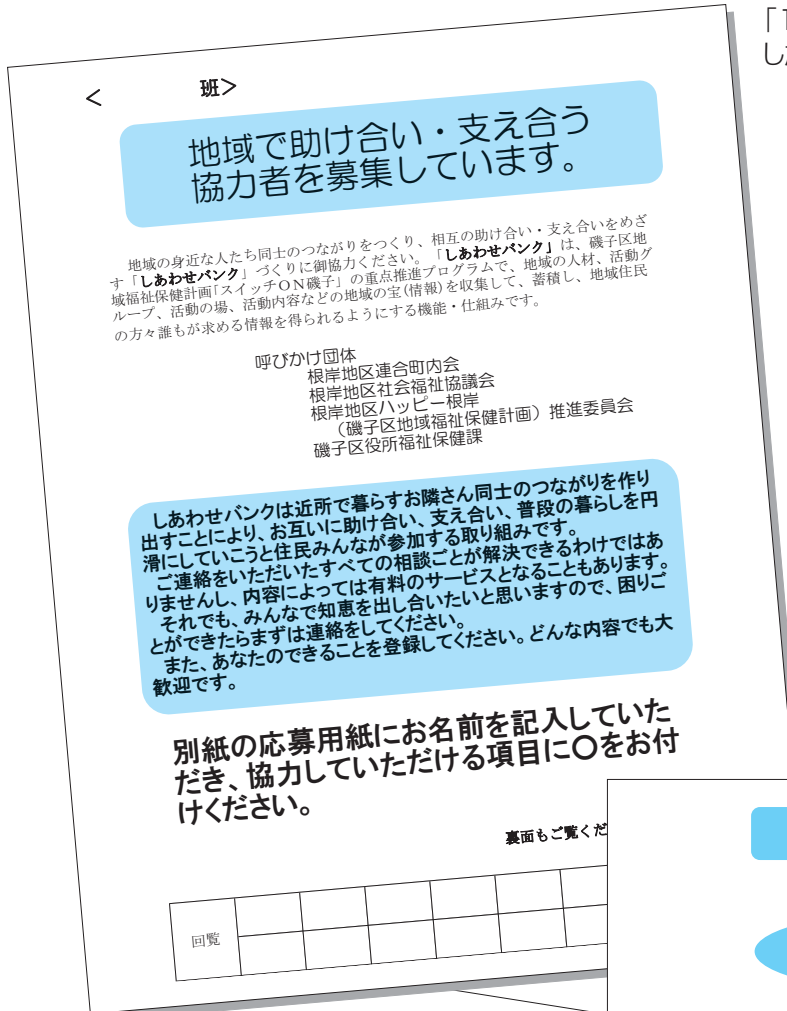
身近な地域に
支えあい・助けあいの
つながりをつくりまします

呼びかけ団体
根岸地区地域福祉保健計画
推進委員会(地区社会福祉
協議会や民生児童委員・自治
会町内会などで構成)
根岸地域ケアプラザ
磯子区役所福祉保健課

回覧						
----	--	--	--	--	--	--

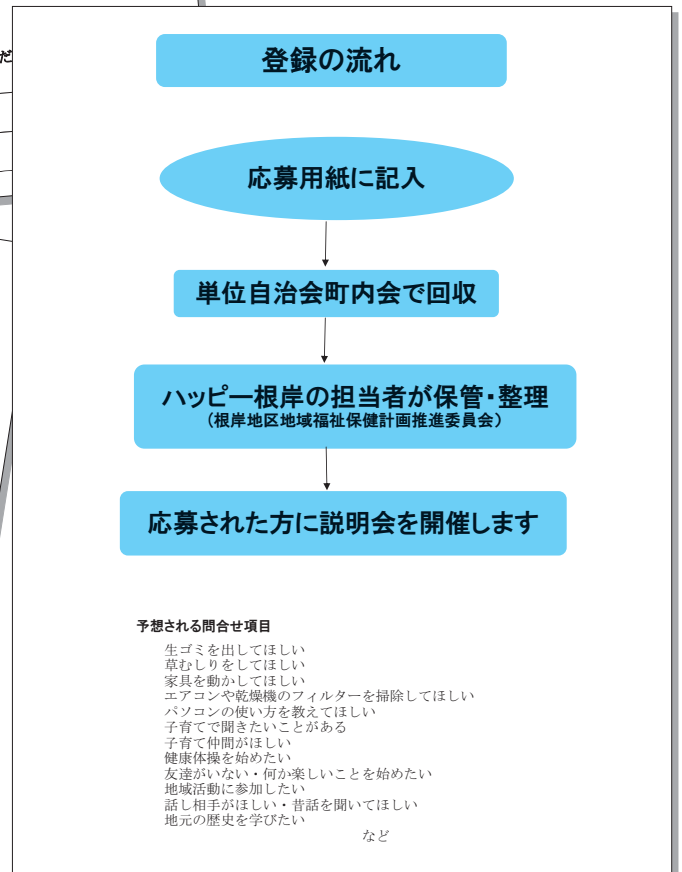
「しあわせバンクの連絡先を宣伝するチラシです」

地域で助けあい・支えあう協力者の募集を行いました。今後も協力者の募集に取り組んでまいります。このチラシは、根岸地区の自治会町内会で回覧した協力者を募るチラシです。



「10月の根岸地区連合町内会で回覧を依頼したものです」

「協力者を登録する流れです」



「協力できる項目を具体的にあげました」

2 根岸の状況を把握するアンケートを実施

地域の課題を把握するためにアンケート調査を行いました。

さらに、平成 23 年 4 月にスタートする第 2 期磯子区地域福祉保健計画策定の基礎資料にもします。

根岸地区に お住まいの皆さまへ

横浜市磯子区長 守屋 直

根岸地区 福祉に関する意識調査 に御協力ください。

磯子区役所では「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」をめざして区民の皆さまからご意見をお聞きしたいと思い、**無作為抽出**によるアンケートをお願いすることといたしました。

該当された方にはアンケート用紙が11月下旬に郵送される予定です。

根岸地区を、誰もが幸せに暮らせるまちにしていくために皆さまのご意見をお聞かせください。

なお、いただいたアンケートは第2期の地域福祉保健計画の策定にも活用させていただきたいと思っております。

地域福祉保健計画は公的サービスの提供という狭い意味での社会福祉の枠を超えて、人々の暮らしを支え、充実するための、あらゆる取組のことを定めた計画のことです。

しあわせバンクは地域の人材などを蓄積して活用する仕組みです。人と人、団体と団体をつなげるきっかけとなるものです。

詳しくは自治会町内会館等に置いてある「**しあわせバンクの解説書～根岸地区を見てみよう～**」をご覧ください。

～誰もが幸せに暮らせるまちをめざして～

スイッチON磯子

磯子区地域福祉保健計画



お問い合わせは

磯子福祉保健センター 福祉保健課事業企画係

(電話)750-2442 (FAX)750-2547

電子メールアドレス:

is-fukuhokeikaku@city.yokohama.jp

回覧							
----	--	--	--	--	--	--	--

「アンケートの実施に先立って地域のかたがたへ回覧等により協力をお願いしました。」

根岸地区の福祉と保健に関する意識調査

根岸地区の皆様には、平素から区政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

磯子区では誰もが幸せに暮らせるまちづくりをめざして、磯子区地域福祉保健計画（愛称：スイッチ ON 磯子）を策定し、今年度は第一期計画の3年目に当たります。

今後も根岸のまちを誰もが幸せに、安心して暮らせるまちにしていくために、地域の課題や皆さまの考え方、これまでの地域福祉保健計画の取組に対する認知度やこれからのまちづくりへの期待などを把握するために、根岸地区在住の皆様にごアンケート調査を行うこととなり、20歳以上の区民の方々の中から3,000人の方を無作為に選ばせていただきました。皆様から得られました声を十分活かして、第二期地域福祉保健計画における根岸地区の計画を策定してまいりたいと思います。なお、ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理をいたしますので、決してあなた様のお考えが公表されたり、回答内容が外部に漏れることはございません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、どうか本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

磯子区長 守屋 直

【ご記入に際して】

ご記入いただいた調査票は、同封の返信封筒にて12月5日（水）までにご投函下さい（切手は不要です）。なお、本調査の内容や記入の仕方などで、わからないことがございましたら、お気軽に下記までご連絡下さい。

お問い合わせ先：磯子区役所 磯子福祉保健センター 福祉保健課事業企画係

電話：045-750-2442 担当：伊東、中村

問1：あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

1. 男性

2. 女性

問2：あなたの年代をお答えください。（○は1つ）

1. 20歳代

2. 30歳代

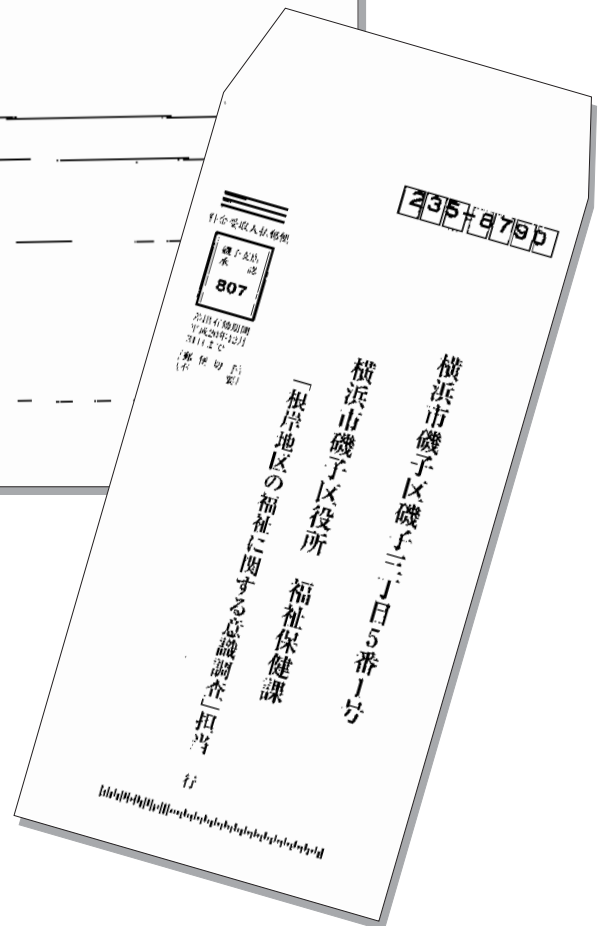
3. 40歳代

4. 50歳代

5. 60歳代

6. 70歳以上

「これがアンケート用紙の実物です。」



しあわせバンクの解説書 ～根岸地区をしてみよう～
[平成20年12月 増補版]

編集・発行 ハッピー根岸推進委員会
横浜市磯子福祉保健センター
〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-5-1
電話 045(750)2443
FAX 045(750)2547(福祉保健課)

登録番号 横浜市広報印刷物登録 第200280号
類別・分類 B-QA020